

The beginning of a new period

診療支援部歯科衛生部門 大岩 典 代



皆様、はじめまして。歯科衛生士の大岩です。

歯科衛生部門のお話をする前に、まず初めに、少しだけ、自己紹介をさせていただきます。出身は新潟県上越市です。上杉謙信、高田公園の桜、豪雪で有名かと思えます。中でも、

私の家は直江津港の目の前にあります。船と波の音、海の匂いに囲まれ、春は桜、夏はお祭り、秋は紅葉、冬は雪と、自然豊かな地域でのんびりと生まれ育ちました。

口腔生命福祉学科の1期生として、2004年に新潟大学歯学部に入學しました。2008年に卒業し、新潟大学大学院 医歯学総合研究科口腔生命福祉学専攻に所属しました。小野和宏教授はじめ、沢山の先生方のお力をお借りして論文を提出し、無事、修士課程を修了できています。

また、「歯科衛生士と社会福祉士の二つの資格を有する」歯科衛生士です。試験勉強は非常に苦戦しました。要領が悪く、冷や汗をかきながら……根性だけで乗り切りました。そんな私ですが、昨年度、今年度と口腔生命福祉学科の3年生の授業に参加させてもらう機会をいただくことになりました。後輩に私と同じ苦労をさせまいと、拙い表現力ながら、お話を考えさせていただいています。

『伝える』ことの難しさを痛感していますが、1期生として実習を通して経験してきたこと、感じてきたこと、大学病院の歯科衛生士として日々考えていることなど、お話できればと考えています。

余談ではありますが、夏といえば、皆様は何を思い浮かべるでしょうか？ 私の趣味が、夏に一番盛り上がるものなのです。ご存知の方もいらっ

しゃるかもしれませんが、私は、「趣味」で、『お神輿』を担いでいます。

大学在学中から担ぎ始め、いつの間にか7年目になります。新潟市内のお祭りを中心に、県内・外問わず年中を通して参加していますので、もし機会があれば遊びにいらしてみてください。恥ずかしながら、新潟まつりの時の写真を掲載していただきました。

……意外ですか？ え、イメージどおりですか？（笑）

他には、水族館でイルカを眺めること、ディズニーリゾートへ出かけること、音楽を聴くこと、ドライブ、冬はスノーボードに出かけること……などが好きです。

……え、これも意外ですか？（笑）

さて、冗談はこれくらいとしまして、本題である、『歯科衛生部門の最近』について、お話することとします。

今年度から、歯科衛生士室の定員もさらに増え、総勢22名となりました。皆様のご理解とご協力をいただき、ここまで大きな集団に成長してきてことができたと感じております。昨年度まで水色だったユニフォームも、4月からデザインを一新し、白の上着と紺色のパンツスタイルになりました。

今年度は新しく変わることが他にもたくさんあります。大きな変化としては、11月に、歯科外来が医科外来と統合され、新外来棟へ移転することが挙げられます。この原稿を書いているのは7月なのですが、日々、様々なことが決定され、11月の移転作業に向けた準備が進んでいます。

これまで診療科ごとの診療室となっていた歯科外来ですが、新外来棟では診療室が統合され、1フ

ロアの中に全ての診療科のユニットが揃います。

私達、歯科衛生士22名の勤務体制も、これまでの「1人が1診療室に配属」されていた状態から、新外来棟では「1人が複数診療科を担当する配置」に変わる方向性となっています。歯科衛生士としての経験年数に関わらず、新たな診療棟と体制になるため、全員一斉のスタートです。

新しい診療室では、今までよりユニットの台数も減り、1台1台の間にパーテーションが設置されます。診療室全体が見渡しにくく、それぞれのユニットに座った患者様の表情が、通路からは見えにくい構造になっているようです。患者様にとって安心・安全な診療を提供していくためには、私達歯科衛生士も、これまで以上に、診療室全体に目を配り、診療環境の整備や診療補助を行っていく必要性が出てくると感じています。

私は、新潟大学医歯学総合病院 診療支援部歯科衛生部門に勤務となってから、顎関節治療部・インプラント治療部・画像診断診療室、小児歯科、予防歯科、歯の診療室・歯周病診療室での勤務を経験してきました。5年目の現在は、歯の診療室・歯周病診療室・加齢歯科・義歯（入れ歯）診療室・冠ブリッジ診療室・小児歯科を流動的なシフトで移動しながら、歯科外来の看護師の皆様と協力して、先生方や歯科衛生士の仲間達の診療が円滑に進むよう、アシスタントや診療器材管理、診療環境の整備などの補助業務を中心に業務を行っています。診療室への配属も、流動的な勤務もどちらも経験させていただいたことで、長年にわたり、たくさんの看護師さんから歯科外来および歯科衛生士が助けていただいていた部分を知ることができました。

現在、私を含め6名の歯科衛生士が、「診療室配属」ではなく、歯の診療室・歯周病診療室・加齢歯科・義歯（入れ歯）診療室・冠ブリッジ診療室・小児歯科を流動的に勤務しています。この勤務体制は昨年の10月から始まりました。歯科外来の看護師さんからご指導いただき、新外来棟で歯科衛生士が勤務していくに当たって、参考となる視点



や考え方を学ばせていただいています。

流動的な勤務になっている6名だけで、この視点や考え方を学び続ける、という訳にはいきませんので、歯科衛生士室全体に我々が学んできた内容を伝達し、皆で情報を共有しながら、診療に役立てていくことが今後の目標の一つとなっています。

歯科衛生士同士のコミュニケーションの強化、組織的な新人教育体制の確立、新潟大学の歯科衛生士の技術の統一、臨床研究への積極的取り組み、認定資格取得など、我々の目標はまだたくさんあります。1人1人の自己研鑽も大切ですし、『歯科衛生部門』という、組織として団結していくことも重要になっていくと考えられます。暖かく応援していただければ幸いです。

今後とも、歯科衛生士室一同、頑張っまいりますので、どうぞ宜しくお願い致します。